




2023年4月28日

各 位

上 場 会 社 名  藤倉化成株式会社
代 表 者 取締役社長 加藤 大輔
(コード番号 4620 東証プライム市場)
問合せ先責任者 取締役 管理本部長
栗原 進
電 話 番 号 (03) 3436-1101

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年10月28日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。なお、本業績予想の修正に伴う1株当たり年間配当予想16円の変更は予定しておりません。

記

1. 2023年3月期通期連結業績予想の修正 (百万円未満四捨五入) (2022年4月1日～2023年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり当期純 利益 |
|-------------------------|--------|--------|--------|---------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 53,000 | 800 | 1,100 | 400 | 12.62 |
| 今回修正予想 (B) | 50,800 | 350 | 535 | 10 | 0.32 |
| 増減額 (B-A) | △2,200 | △450 | △565 | △390 | |
| 増減率 (%) | △4.2% | △56.3% | △51.4% | △97.5% | |
| (ご参考)前期実績 (2022年3月期) | 48,214 | 1,229 | 1,449 | 741 | 23.28 |

2. 修正の理由

慢性的な半導体不足や部品調達難から自動車メーカー各社の生産調整が予測以上に長引いたことに加え、2023年3月期第3四半期以降、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や金利上昇を背景とした世界的な景気減速感が強まったことに伴い、特に合成樹脂における国内外の需要回復が想定以上に遅れたことが影響し、前回公表した売上高予想を下回る見通しです。

利益面につきましては、原材料、エネルギー価格等の高騰に対して各種製品の価格改定を進め、販管費の削減にも注力してまいりましたが、製造コストの増加を吸収するに至らず、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、それぞれ前回公表の予想を下回る見通しです。

(注) 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上